

異年齢・異学年から子どもの育ちと学びを考える

「あこがれ」と「いたわり」を越えて

参加
無料

日時 2018年3月17日(土) 14:00~18:00 ※開場 13:30

会場 北海道大学教育学部 3階会議室

少し前から、全国各地で、異年齢保育や異学年協働活動、多世代交流等の実践が報告されるようになってきました。異年齢やタテ割りの活動は、以前から見られましたが、近年の動向には何か新しい状況や意味も見え隠れしているように思います。近未来社会に向けた教育的な意図もあるでしょうし、少子・高齢・過疎化といった社会変化を前にした“模索”としての意味もあるでしょう。いずれにしても、「異年齢・異学年」は、人の育ちと学びのあり方を考えるためのきっかけを与えてくれるように思います。このフォーラムでは、保幼小の実践報告をもとに、「異年齢・異学年」における育ちと学びについて語りあいたいと思います。

プログラム

司会進行 伊藤 崇 氏 (北海道大学大学院教育学研究院・准教授、言語発達論)

1. 実践報告

(1) 発寒ひかり保育園 (園長・吉田 行男 氏、副主任保育士・家村 維人 氏)
テーマ「みんなきょうだい大きな家族：赤ちゃんからの異年齢保育と多世代交流」

(2) 美晴幼稚園 (園長・東 重満 氏、教頭・中川 絵理 氏)
テーマ「多様性の中で育ち合う異年齢クラス保育」

(3) 香川大学教育学部附属高松小学校 (教諭・橘 慎二郎 氏、教諭・前場 裕平 氏)
テーマ「分かち合い、共に活動や価値を創造する異年齢集団の歩み：壁やイレギュラーとの対峙の中で、自己の生き方・在り方を見つめ直す」

2. ショートレクチャー&コメント

篠原 岳司 氏 (北海道大学大学院教育学研究院・准教授、学校経営論・教育行政学)
テーマ「教育行政研究の視座から：中学校・高校における異年齢・異学年教育の動向をふまえて」

3. 総括コメント

川田 学 氏 (北海道大学大学院教育学研究院・准教授、乳幼児発達論)



【問い合わせ】川田 学(北海道大学・准教授) kawata@edu.hokudai.ac.jp

【主催】北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター

【付記】本企画は、科学研究費補助金基盤研究(B)「異年齢期カップリングの発達学：子どもの生きづらさを超えるための学際的協働」の助成を受けています。

RCCCD